



## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL (03) 3270-2701  
FAX (03) 3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂日 2024/07/22  
SDS整理番号 12103351

製品等のコード : 1210-3351

製品等の名称 : 硫化鉛( )

推奨用途 : 試薬

参考: その他の用途 (当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。) 顔料、塗料、陶器のつわ薬、摩擦添加剤 など

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



Pb — S

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性  
可燃性固体 : 区分に該当しない  
自然発火性固体 : 区分に該当しない  
自己発熱性化学品 : 区分に該当しない  
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

健康に対する有害性  
発がん性 : 区分2  
生殖毒性 : 区分1A  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分1 (血液系、腎臓、神経系)  
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (血液系、腎臓、神経系)

環境に対する有害性  
水生環境有害性 短期(急性) : 区分1  
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1

注意喚起語 : 危険

## 危険有害性情報

発がんのおそれの疑い  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
血液系、腎臓、神経系の障害  
長期又は反復暴露による血液系、腎臓、神経系の障害  
水生生物に非常に強い毒性  
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

【安全対策】  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しないこと。  
取扱い後は、よく手を洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

環境への排出を避けること。

【応急措置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。

漏出物を回収すること。

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉し冷暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	化学物質
化学名	:	硫化鉛( ) (別名) 鉛( )スルフィド、硫化鉛 (英名) Lead( ) sulfide、Lead sulfide (EC名称)、 Lead sulfide (PbS) (TSCA名称)
成分及び含有量	:	硫化鉛( )、92.0%以上 鉛(Pb)の含有量 = $92.0 \times 207.2 / 239.25 = 79.7\%$
化学式及び構造式	:	PbS、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	:	239.25
官報公示整理番号	:	(1)-566
	化審法	:
	安衛法	:
	:	公表化学物質(化審法番号を準用)
CAS No.	:	1314-87-0
EC No.	:	215-246-6
危険有害成分	:	硫化鉛( )

4. 応急措置

吸入した場合	:	呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の治療を受ける。
皮膚に付着した場合	:	直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 皮膚を多量の水と石鹸で洗う。 皮膚刺激などが生じた時は医師の手当を受ける。 汚染された作業衣は作業場から出さない。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	:	直ちに、流水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合には外して洗うこと。洗浄を続ける。 まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 目の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲み込んだ場合	:	直ちに医師に連絡する。 速やかに、口をすすぎ、うがいをする。 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 意識がない時は、何も与えない。 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	:	データなし。 (参考情報) 無機鉛の急性症状 無機鉛の吸入もしくは経口摂取により口内の収斂、渇き、 消化器への影響として吐き気、嘔吐、上腹部不快感、食欲不振、腹痛、 便秘などを引き起こす。造血機能への影響は無機鉛の代表的な作用であり、 -アミノレブリン酸及びヘム合成酵素の阻害に起因したヘモグロ ピン合成阻害、赤血球寿命の短縮による貧血が認められている。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	:	この製品自体は燃焼しない。 周辺火災に種類に応じて適切な消火剤を用いる。 噴霧水、二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤
使ってはならない消火剤	:	棒状放水(本品があふれ出て、有害性や環境汚染の危険性を引き起こすおそれがある。)
特有の危険有害性	:	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	:	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
  - : 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
  - : 風上から作業し、粉じんなどを吸入しない。
  - : 粉じんが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。
  - : 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
- 環境に対する注意事項
- : 河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。
- 回収、中和
- : 漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。
  - : 漏洩物が飛散する場合は、水を散布し湿らしてから回収する。
  - : 回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に処分廃棄する。
  - : 後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材
- : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策
- : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
  - : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
  - : 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策
- : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
  - : 粉じんの発生を防止する。粉じんの堆積を防ぐ。
  - : 酸と混触すると、反応して有毒ガスを発生するため、酸類との接触を避ける。
- 局所排気・全体換気
- : 取扱場所には除じん装置と局所排気装置又はプッシュプル型換気装置を設置する。
- 安全取扱い注意事項
- : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
  - : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
  - : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
  - : 取扱い後はよく手を洗う。
- 接触回避
- : 湿気、水、高温体との接触を避ける。
- 保管
- 技術的対策
- : 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
  - : 保管場所は、採光と換気装置を設置する。
- 保管条件
- : 直射日光や高温多湿を避けて保管する。
  - : なるべく乾燥した場所に保管する。
  - : 一定の場所を定めて、施錠して保管する。
  - : 貯蔵する所には、白地に赤枠、赤文字で「医薬用外劇物」の表示を行う。
  - : 容器を密閉して冷暗所に保管する。
  - : 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
- 混触危険物質
- : 酸類、強酸化剤
- 容器包装材料
- : ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度
- : 0.05mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)
- 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
- 日本産衛学会: 0.1mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)
  - ACGIH: TLV-TWA 0.15mg/m<sup>3</sup> (Pbとして)
- 設備対策
- : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
  - : 取扱場所には除じん装置と局所排気装置又はプッシュプル型換気装置を設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具
- : 呼吸器保護具 (防じんマスク) を着用する。
- 手の保護具
- : 保護手袋 (塩化ビニル製、ニトリル製など) を着用する。
- 眼の保護具
- : 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具
- : 長袖作業衣を着用する。
  - : 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
- 衛生対策
- : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
  - : 取扱い後はよく手を洗う。
  - : 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態
- 性状
- : 粉末

色	: 灰黒色～黒色
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: 1114
凝固点	: データなし
沸点	: 昇華 (1281 )
引火点	: 不燃性
可燃性	: 不燃性
爆発範囲	: 不燃性
蒸気圧	: データ不足 [ 参考: 1.33hPa (852 ) ]
相対ガス密度 ( 空気 = 1 )	: データなし
密度又は相対密度	: 7.5 g/cm <sup>3</sup> ( 20 )
比重	: データなし
溶解度	: 水にほとんど溶けない ( 124.4mg/L、20 )。 硝酸、熱希塩酸に溶ける。 エタノール、ジエチルエーテル、ヘキサンにほとんど溶けない。
オクタノール/水分配係数	: データなし
発火点	: 不燃性
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
粒子特性	: データなし
GHS分類	
可燃性固体	: 本品は不燃性 ( HSDB, 2006 ) であることから、区分に該当しないとした。
自然発火性固体	: 本品は不燃性 ( HSDB, 2006 ) であることから、区分に該当しないとした。
自己発熱性化学品	: 本品は不燃性 ( HSDB, 2006 ) であることから、区分に該当しないとした。
水反応可燃性化学品	: 水溶解度が124.4mg/L ( 20 ) であり、水に対して安定であると考えられるので、区分に該当しないとした。

10. 安定性及び反応性

安定性 ( 反応性・化学的安定性 )

危険有害反応可能性	: 通常の取扱条件において安定である。 塩化ヨウ素または過酸化水素と混触すると、激しく反応する。 強酸化剤と反応することがある。 酸と混触すると、反応して有毒な硫化水素ガスを発生する。 火災などで強熱されると、有害な酸化鉛、硫酸鉛の煙霧とガスを発生する。
避けるべき条件	: 高熱、日光
混触危険物質	: 酸類、塩化ヨウ素、過酸化水素、強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 酸化鉛、硫酸鉛、硫黄酸化物、硫化水素

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 分類できない。 経皮 分類できない。 吸入 ( 蒸気 ) 分類できない。 吸入 ( 粉じん ) 分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない。
呼吸器感受性	: 分類できない。
皮膚感受性	: 分類できない。
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない。 DFGOTvol. 17 ( 2002 )、NTP DB ( 2006 ) の記述から、 経世代変異原性試験なし、生殖細胞 in vivo 変異原性試験なし、体細胞 in vivo 変異原性試験 ( 小核試験、染色体異常試験 ) で陰性であった。
発がん性	: NTPでR ( NTP ( 2005 ) )、IARCでGroup 2B ( IARC 87( 2004 ) )、ACGIHでA3 ( ACGIH-TLV ( 2004 ) )、日本産業衛生学会で2B ( JETOC特別資料No. 190 ( 2004 ) ) に分類されていることから、区分2とした。 発がんのおそれの疑い ( 区分2 )
生殖毒性	: 本製品に関するデータはない。しかし、鉛はヒトで発生神経毒性物質、生殖 毒性物質として知られている ( ACGIH-TLV ( 2004 )、ATSDR ( draft 2005 ) ) こ とに基づき、区分1Aとした。 生殖能または胎児への悪影響のおそれ ( 区分1A )
特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 )	: 本物質については、無機鉛化合物の影響を基に分類するものとする。 無機鉛化合物の毒性として、ヒトについては、「無機鉛の急性影響及び 慢性影響はほぼ同様の症状が認められている。無機鉛の吸入もしくは経 口摂取により口内の収斂、渴き、消化器への影響として吐き気、嘔吐、 上腹部不快感、食欲不振、腹痛、便秘などを引き起こすと報告されてい

特定標的臓器毒性  
(反復ばく露)

る。造血機能への影響は無機鉛の代表的な作用であり、**-アミノレブリン酸及びヘム合成酵素の阻害に起因したヘモグロビン合成阻害、赤血球寿命の短縮による貧血が認められている。**腎臓への影響として間質性腎障害(interstitial nephropathy)、尿量減少のほか、蛋白尿、血尿、尿円柱、糖尿及びアミノ酸尿などに代表されるFanconi 症候群を呈する近位尿管障害が報告されている。無機鉛は末梢神経系に作用し、特に四肢の筋の虚弱、疼痛、痙攣が認められている。また、成人においては非常にまれであるが、極めて高濃度(詳細不明)の暴露を受けた場合、運動失調、頭痛、知覚異常、抑うつ、昏睡などの中枢神経系への影響が認められている。しかしながら、中枢神経系への影響は、特に小児において感受性が高く、落ち着きがない、攻撃的性格、集中困難、記憶力低下などを伴う症状が米国で問題となっている。」(CERIハザードデータ集 2001-9 (2002))の記述があることから、血液系、腎臓、神経系が標的臓器と考えられた。

以上より、区分1(血液系、腎臓、神経系)とした。

: 本物質については、無機鉛化合物の影響を基に分類するものとする。無機鉛化合物の毒性として、ヒトについては、「無機鉛の急性影響及び慢性影響はほぼ同様の症状が認められている。無機鉛の吸入もしくは経口摂取により口内の収斂、渴き、消化器への影響として吐き気、嘔吐、上腹部不快感、食欲不振、腹痛、便秘などを引き起こすと報告されている。造血機能への影響は無機鉛の代表的な作用であり、**-アミノレブリン酸及びヘム合成酵素の阻害に起因したヘモグロビン合成阻害、赤血球寿命の短縮による貧血が認められている。**腎臓への影響として間質性腎障害(interstitial nephropathy)、尿量減少のほか、蛋白尿、血尿、尿円柱、糖尿及びアミノ酸尿などに代表されるFanconi 症候群を呈する近位尿管障害が報告されている。無機鉛は末梢神経系に作用し、特に四肢の筋の虚弱、疼痛、痙攣が認められている。また、成人においては非常にまれであるが、極めて高濃度(詳細不明)の暴露を受けた場合、運動失調、頭痛、知覚異常、抑うつ、昏睡などの中枢神経系への影響が認められている。しかしながら、中枢神経系への影響は、特に小児において感受性が高く、落ち着きがない、攻撃的性格、集中困難、記憶力低下などを伴う症状が米国で問題となっている。」(CERIハザードデータ集 2001-9 (2002))の記述があることから、血液系、腎臓、神経系が標的臓器と考えられた。

以上より、区分1(血液系、腎臓、神経系)とした。

誤えん有害性

: 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性): 甲殻類(オオミジンコ) 48時間LC50=138 µg/L (AQUIRE, 2003)

水生環境有害性 長期(慢性): 水生生物に非常に強い毒性(区分1)  
急性毒性が区分1、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分1とした。  
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性(区分1)

残留性・分解性

: データなし

生物蓄積性

: データなし

土壤中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。  
都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。  
廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。  
(参考) 固化隔離法  
セメントで固化し溶出量が判定基準以下であることを確認して、埋立処分する。

汚染容器及び包装

: 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

緊急時応急処置指針番号 : 171

国際規制

海上規制情報 (IMDGコード/IMOの規定に従う)

UN No. : 3077  
 Proper Shipping Name : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.  
 (Lead sulfide)  
 Class : 9 (有害性物質)  
 Sub risk : -  
 Packing Group : III  
 Marine Pollutant : Yes (該当)  
 Limited Quantity : 5kg

航空規制情報 (ICAO-TI/IATA-DGRの規定に従う)

UN No. : 3077  
 Proper Shipping Name : Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.  
 (Lead sulfide)  
 Class : 9  
 Sub risk : -  
 Packing Group : III

国内規制

陸上規制情報 (毒劇法、道路法の規定に従う)

海上規制情報 (船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等を定める告示に従う)

国連番号 : 3077  
 品名 : 環境有害物質 (固体)  
 クラス : 9  
 副次危険 : -  
 容器等級 : III  
 海洋汚染物質 : 該当  
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類 : 非該当  
 少量危険物許容量 : 5kg

航空規制情報 (航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に従う)

国連番号 : 3077  
 品名 : 環境有害物質 (固体)  
 クラス : 9  
 副次危険 : -  
 等級 : III  
 少量輸送許容物件許容量 : 30kg (包装込みの質量)

特別の安全対策

: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
 重量物を上積みしない。  
 車輛等による運搬の際にはイエローカードを運搬人に保持させる。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物  
 (政令番号 第411号「鉛及びその無機化合物」、対象重量%は 0.1)  
 名称等を通知すべき危険物及び有害物  
 (政令番号 第411号「鉛及びその無機化合物」、対象重量%は 0.1)  
 (令別表第9)  
 (注) 令和7年4月1日以降、政令番号: 令別表第9の第23号に変更

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 作業環境評価基準「鉛及びその化合物」  
 : 特定第一種指定化学物質、1-353、「鉛及びその化合物」  
 管理番号: 697

毒物及び劇物取締法 : 劇物「鉛化合物」(指定令第2条第1項第77号) 包装等級  
 消防法 : 非該当  
 船舶安全法 : 有害性物質  
 航空法 : その他の有害性物質  
 水質汚濁防止法 : 有害物質 (施行令第2条)

土壌汚染対策法 : 第2種特定有害物質 (法第2条第1項、施行令第1条)  
 「鉛及びその化合物」 [排水基準] 0.1mg/L (Pb)  
 「鉛及びその化合物」 [溶出量基準値] 0.01mg/L(Pb)

輸出貿易管理令 : キャッチオール規制 (別表第1の16項) [含有量基準値] 150mg/kg(Pb)  
 HSコード: 2830.90  
 第28類 無機化学品  
 ・輸出統計番号 (2024年1月版): 2830.90-000  
 「硫化物及び多硫化物 (多硫化物については、化学的に単一であるかないかを問わない。)  
 - その他のもの」  
 ・輸入統計番号 (2024年4月1日版): 2830.90-000  
 「硫化物及び多硫化物 (多硫化物については、化学的に単一であるかないかを問わない。)  
 - その他のもの」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

取扱注意事項:

本製品の取扱いは毒物劇物取締法の規定に従い、購入、保管、使用及び廃棄には細心の注意を払うこと。毒物劇物取扱等の責任者は、必要に応じ取扱う者に対し労働安全衛生、漏洩防止、緊急時の対応、環境影響、使用記録、保管庫施設、紛失盗難防止などについて教育、訓練を実施し、事故の予防に努めること。

参考文献:

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じて作成しています。